

## 海況速報

平成 14 年度 第 6 号 (通算 No.90)  
平成 15 年 3 月 13 日  
北海道立水産試験場



内容についてのお問い合わせは  
中央水産試験場 海洋環境部  
Tel 0135-23-4020

## 2 月上旬から 2 月中旬の海況

日本海海域

### 対馬暖流強め

前回 (12 月) 水温の高かった道北日本海沿岸域では、平年並みの水温となっていますが、積丹半島から南の道西日本海の沿岸域では水温がやや高く、留萌西方海域まで 100m 層で 6 以上となっています。また、沖合の冷水域では水温が低めのところが多くなっています。

余市における 12 月下旬以降 3 月上旬までの沿岸水温 (旬平均) は、12 月下旬 ~ 1 月中旬は「やや低い」でしたが、1 月下旬 ~ 3 月上旬は「平年並み」から「やや高い」の間で推移しました。

道東太平洋海域

### 流水来る

流水が太平洋まで流出したため、道東の羅臼沖および厚岸沖で観測が十分にできませんでした。道東沿岸から沖合にかけて、親潮で広くおおわれています。厚岸沿岸では 100m 層まで 0 以下となっており、沿岸親潮 (\*1) が襟裳岬へ向かって流れています。親潮は襟裳岬から暖水塊と津軽暖流水の間を三陸沖へ南下しているようです。水温は全体的に平年より低く、引き続き低温傾向となっています。

道南太平洋海域

### 沿岸親潮接近

津軽暖流は沿岸モード (\*2) になっていますが。襟裳岬南方沖には津軽暖流水起源と考えられる暖水があります (例えば 100m 層で 7 以上)。0m 層では水温 2 以下の沿岸親潮 (\*1) が浦河沖から苫小牧沖まで広がっています。東経 141 度 20 分、北緯 42 度以北では、0m 層および 50m 層の水温が 2 以上となっており、平年よりやや高くなっています。したがって沿岸親潮は噴火湾へ本格的には流入していない様です。

オホーツク海海域

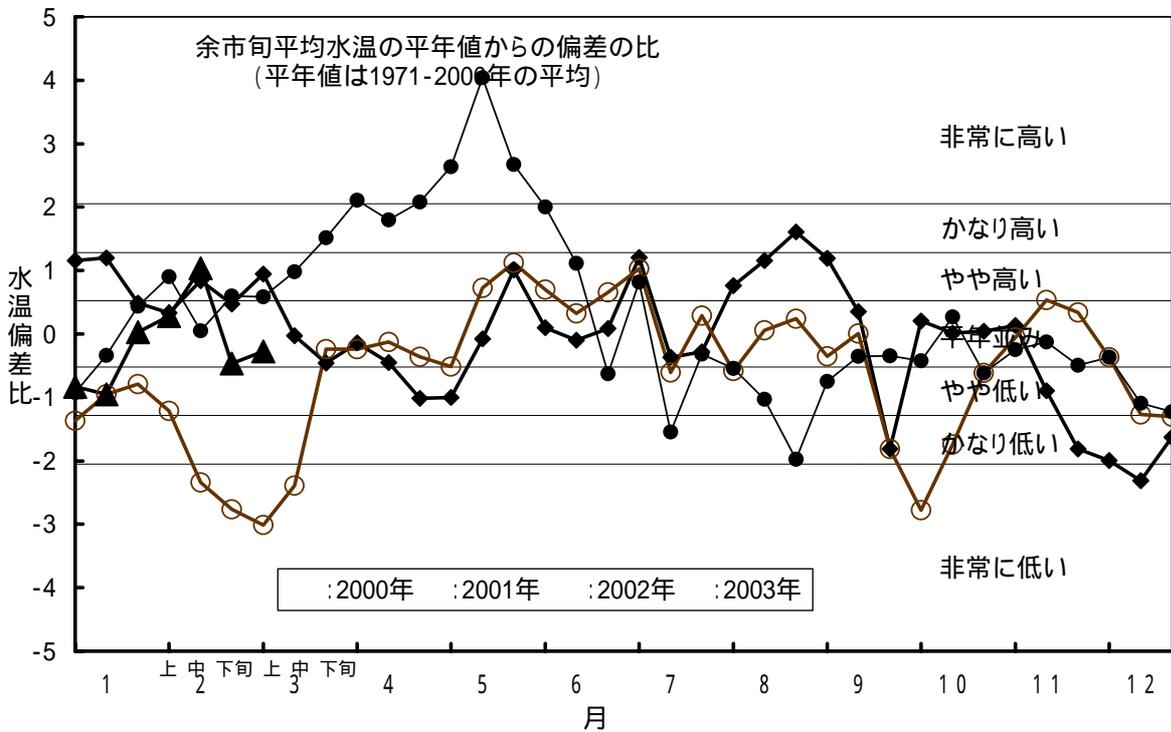
海氷のため観測はありません。

\*\*\*\*\*

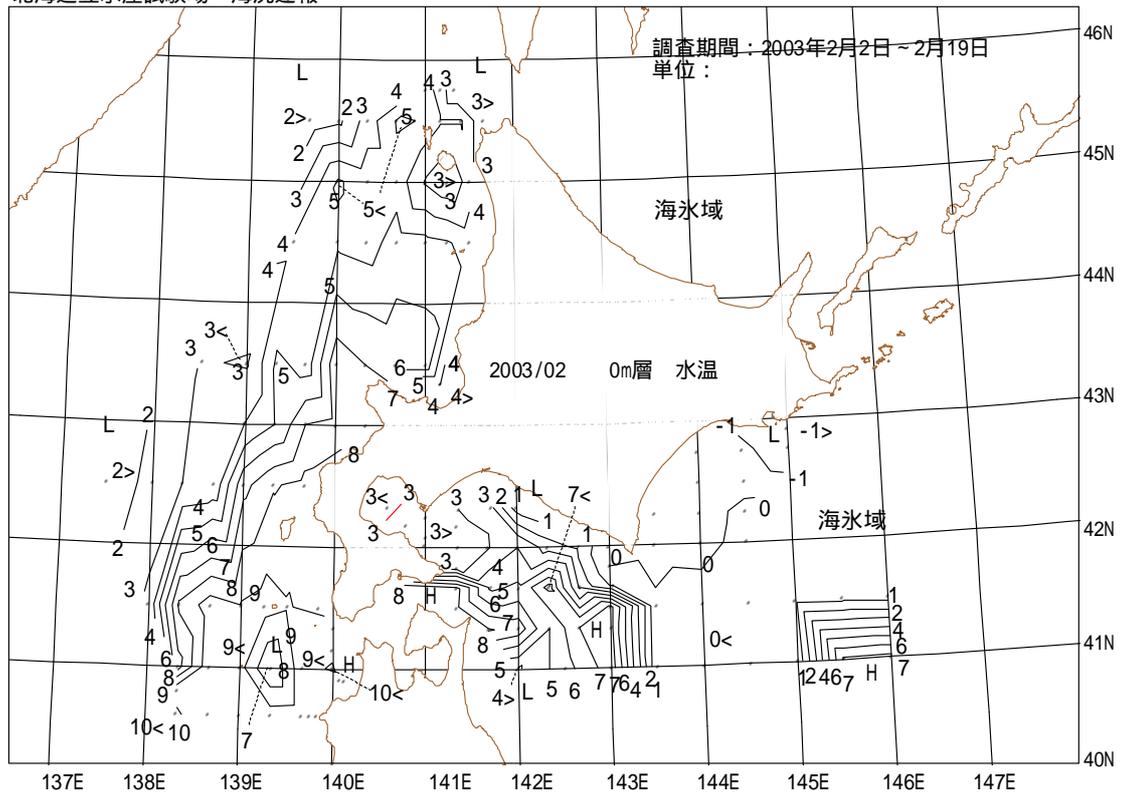
資料	観測期間	観測海域
青森水試（東奥丸）	2003/2/8-2/9	（東北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2003/2/17-2/19	（道北日本海海域）
釧路水試（北辰丸）	2003/2/17-2/19	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2003/2/4-2/7	（道南太平洋海域）
中央水試（おやしお丸）	2003/2/2-2/5	（道西日本海海域）

\*\*\*\*\*

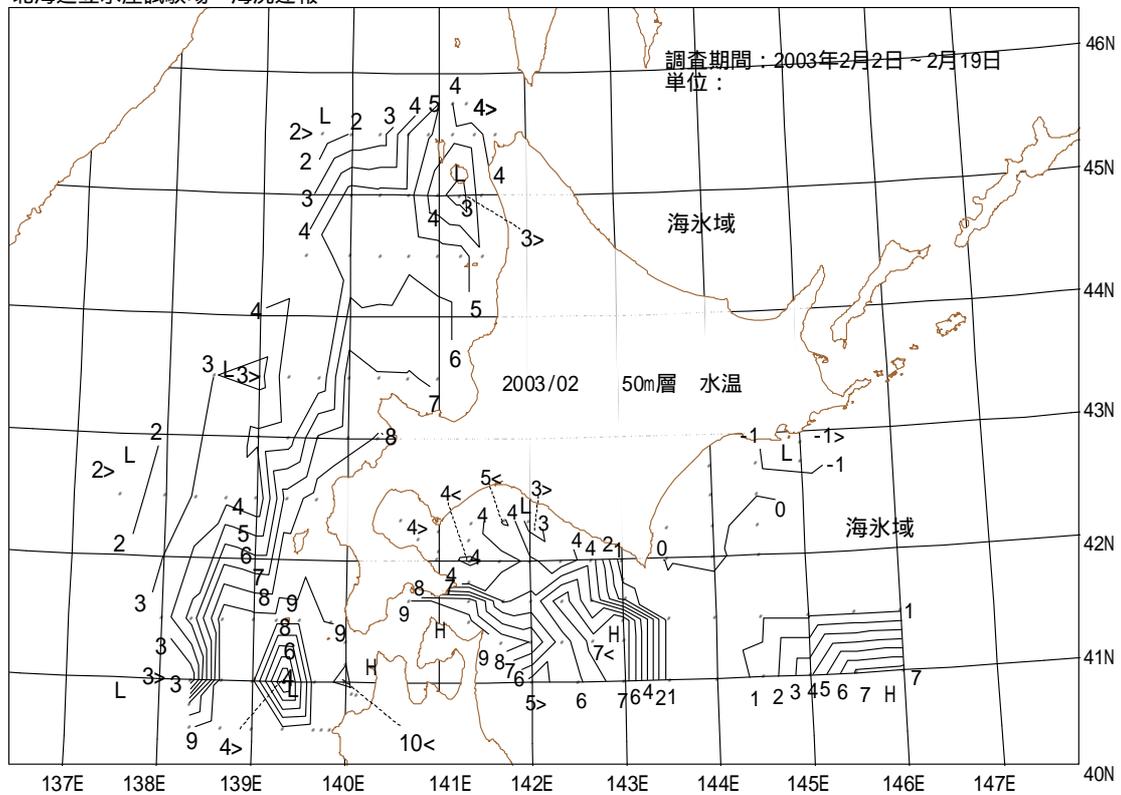
- \* 1：オホーツク海の海水の融氷水を含む親潮として特に沿岸親潮という名前が付けられています。
- \* 2：津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます



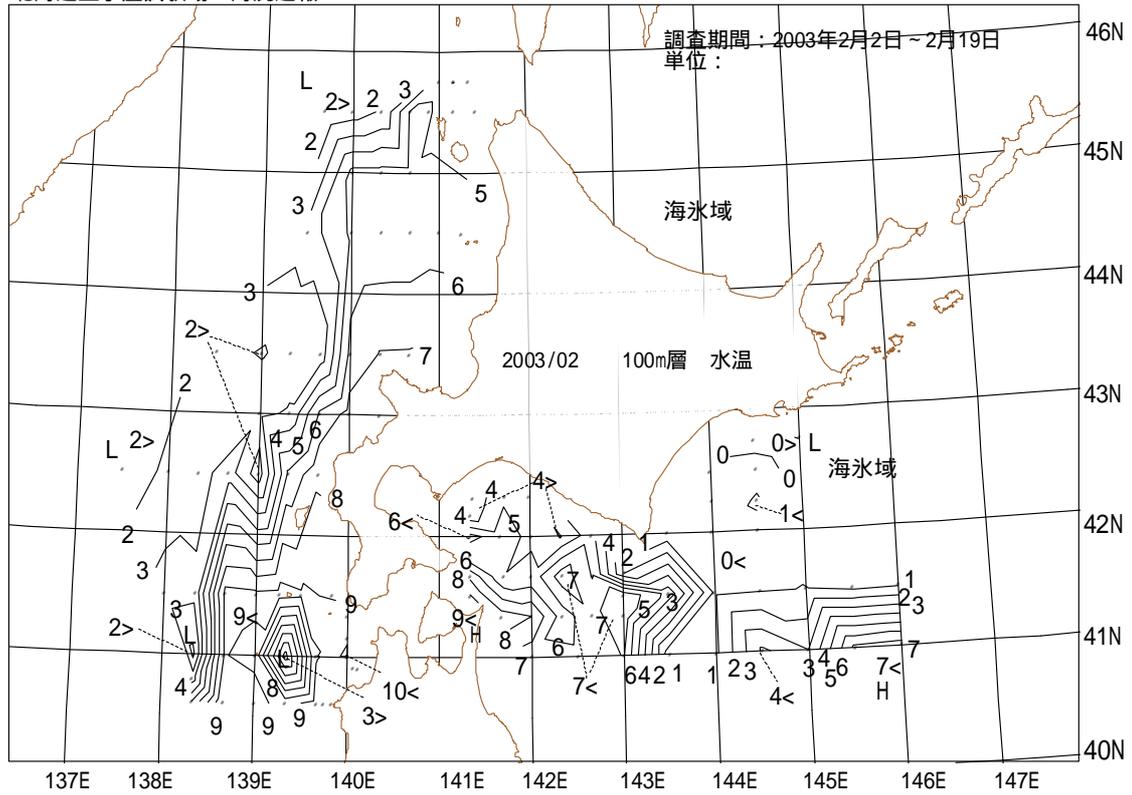
北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報



北海道立水産試験場 海況速報

